

つなぐ



<設立状況(R2.10.1) 全41地区中>
 まちづくり協議会 29(31 地区)
 まちづくり協議会準備会 0(0 地区)

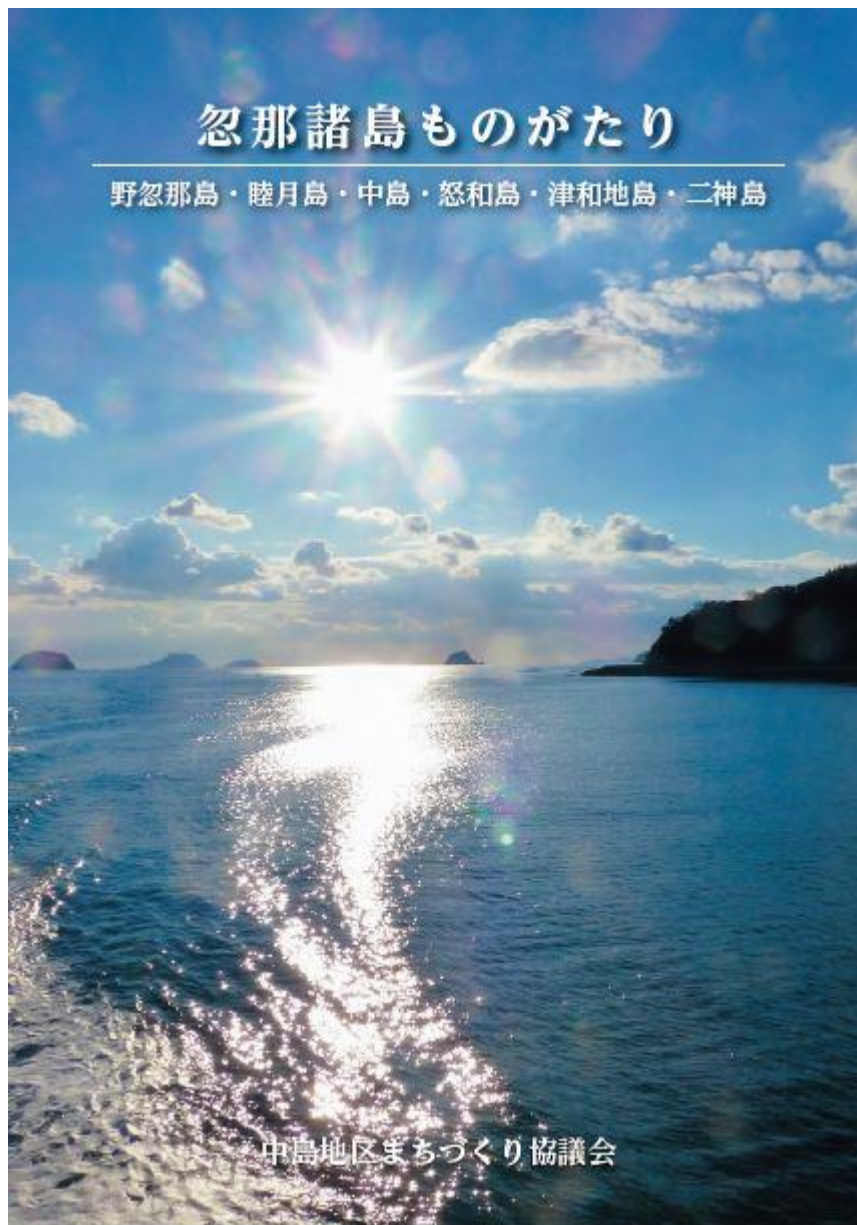
Vol. 33

発行：松山市役所 まちづくり推進課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-1821

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/tikudayori.html>

Facebook: <https://www.facebook.com/machijoho>

Facebook まちづくり協議会情報局



忽那諸島ものがたり

野忽那島・睦月島・中島・怒和島・津和地島・二神島

中島地区まちづくり協議会



中島地区まちづくり協議会 忽那諸島ものがたり

中島地区まちづくり協議会が、地域の歴史や文化などについてまとめた小冊子『忽那諸島ものがたり』を発行しました。

島民の高齢化が進み、郷土研究や文化的な活動をする人たちが少なくなっている現状を受け、「自分たちの暮らしている地域のことを詳しく知ることが出来るものが身近にあれば・・・」という思いから、中島地域の郷土史に造詣が深い二神島出身の豊田渉さんに相談し、丸一年をかけて作成しました。

この冊子は、主に、野忽那島・睦月島・中島・怒和島・津和地島・二神島の6つの有人島の歴史や史跡などが写真や挿し絵とともに紹介されていて、忽那諸島のガイドブックとしても活用できるようになっています。



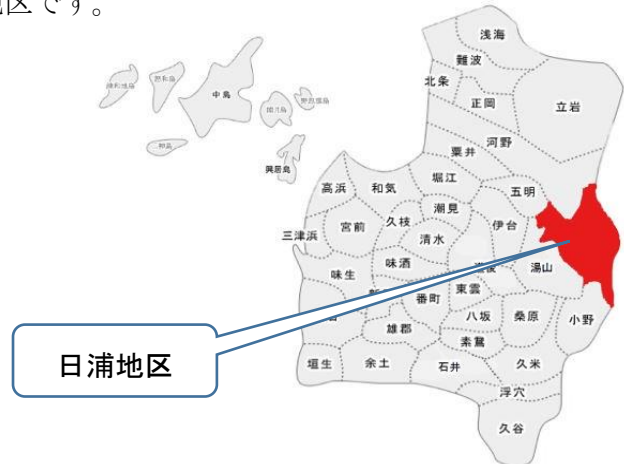


まち協設立地区紹介コーナー

日浦地区まちづくり協議会

面積 : 40.65km²
 人口 : 241人
 世帯数 : 128世帯
 ※R2.9.1現在

日浦地区は松山市の中でも最大級の面積を有する緑豊かな山林の多い地区です。ホタルの名所で、地域住民が一丸となって、清流を保つ努力を続けています。地域の歴史も古く、伝統行事が今も残っている地区です。



地区の見どころ

◎ホタルの里

日浦小中学校の生徒で構成される「緑の少年団」がふ化させたホタルの幼虫を放流したり、有志で竹灯籠を制作・点灯したりして、ホタルを見に来た方々に楽しんでもらえるよう地域をあげて活動しています。

◎川施餓鬼

8月15日に大幟を立て、鉦を鳴らし、川の中を練り歩く伝統行事です。日浦地区の子どもから大人までが参加し、伊予河野一族の七人大将を供養するとともに、同時に思いを馳せます。



【竹灯籠（川の郷町）】



【川施餓鬼（東川町）】

活動内容の一例

◎日浦マップ

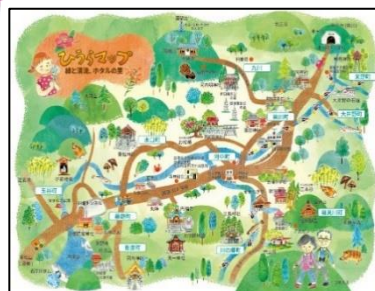
日浦地区の魅力を広く発信するために地区の史跡や名所、イベントなどをまとめたマップです。イラストは地域の方のオリジナルで、地区外の方が見て楽しめるものとなっており、裏面には見どころの詳細が記載されています。

◎各種団体への助成

公民館や学校など各種団体の助成を行うことで、地域の活性化や事業の効果を高める取組に繋がっています。中でも国道沿いの草刈りや花木の手入れなど町内美化活動に力を入れ、日浦の魅力を発信しています。



【日浦マップ表面】



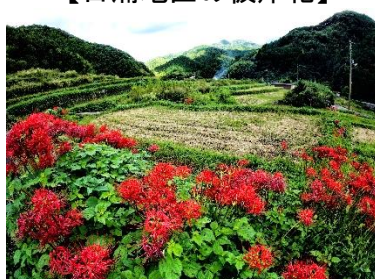
【日浦駅伝】



【マップ制作会議】



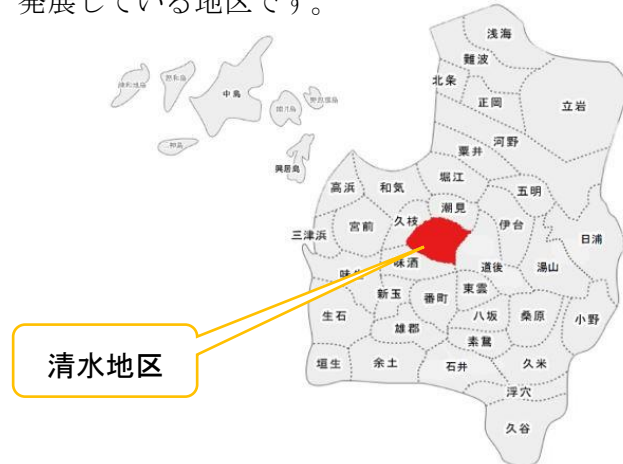
【日浦地区の彼岸花】



清水地区まちづくり協議会

面積 : 3.65km²
 人口 : 26,511人
 世帯数 : 16,434世帯
 ※R2.9.1現在

清水地区は、小・中・高・大学がバランス良く配置された文教のまちです。俳人種田山頭火の終の住処となった一草庵をはじめ、由緒ある寺社仏閣等の文化遺産も数多くあり、新しい町と歴史の町が融合し、発展している地区です。



清水地区



地区の見どころ

◎どじょう施餓鬼

清水地区まちづくり協議会が平成28年から復活させ、毎年8月25日に開催しています（今年はコロナの影響で中止）。当日は輪投げやかき氷などの様々な出店が並び、多くの人で賑わいます。

◎ロシア兵墓地

日露戦争時に収容されたロシア兵捕虜98名が今も静かに眠っています。「清水の誇り、宝」として、地域で献身的な清掃活動が続けているため、いつもきれいに整備され、線香や献花が絶えることがありません。



【どじょう施餓鬼】



【勝山中の生徒による清掃活動】

活動内容の一例

◎人の輪作戦

全国交通安全週間期間中に、本町6丁目の交差点周辺で、スピード違反の防止や運転中の携帯電話の使用禁止をのぼり旗を使って呼びかけます。昨年は52名の協力を得て交通安全の啓発をしました。

◎カーブミラークリーン作戦

交通事故防止推進活動の一環として、カーブミラーの清掃活動を行っています。

昨年は松山大学から緑町1丁目までの9か所のカーブミラーを磨き上げました。ぴかぴかになったカーブミラーが、清水のまちの安全を見守っています。



【交通量の多い国道196号線沿いでの人の輪作戦】

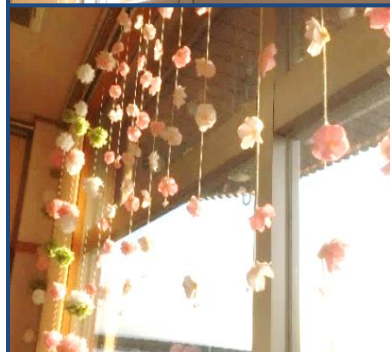
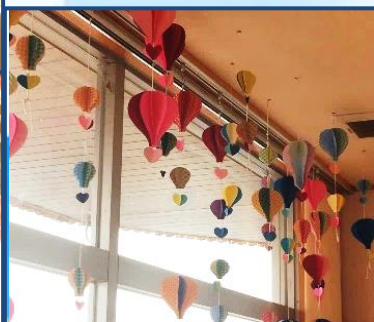


【住宅街の安全安心を願うカーブミラークリーン作戦】



訪れる人の目を楽しませる四季折々の飾付 海の駅「うみてらす」

堀江地区まちづくりコミュニティ会議が取り組んでいる海の駅「うみてらす」の飾付を紹介します。地域開発・整備部と家族文化推進部が協働した事業で、様々なモチーフを手作りしています。これまでも、鯉のぼりや紫陽花、雪だるまなどを飾り、季節を感じる空間にしています。毎年違った内容で、何度も足を運びたくなる場所です。



家族文化推進部の皆さんは、堀江公民館で行われる成人式のくす玉（写真右）、フोटospot（写真左）も製作しています。毎年趣向を凝らした作品を提供し、新成人たちにも好評です。



▼そのほかにも様々な活動の様子をフェイスブックで随時発信中です。ぜひフェイスブック「堀江地区まちづくりコミュニティ会議」をご覧ください。



第31回 まちづくりで輝く人 地域で活躍している人を紹介します

忽那諸島地域ガイド

豊田 渉(わたる) さん



趣味・特技

島旅や全国の島人たちとのネットワークづくり。
40年の船通勤。

今回の表紙を飾った「忽那諸島ものがたり」の編集で活躍された豊田渉さんをご紹介します。

【中島地区はどのようなところですか？】

6つの有人島と20余りの無人島からなる地域で、広い海を持っています。高齢化や少子化の問題などありますが、若い人たちの移住も見られ、島の底力を持ちながら頑張っている人たちが多くいます。

【活動の中で良かった、苦労したことを教えてください。】

字数や紙面が限られた中で忽那諸島を紹介することには大変な作業でした。あれも入れたいこれも入れたいと思いながら涙をのんで掲載できなかったことも多くありました。この活動に関われたことを誇りに思い、すし、「まだまだこれだけで終わらせてはいけないな」という思いを強くしました。

【「忽那諸島ものがたり」への思いを聞かせてください。】

中島地区の17の集落で皆さんが地域を歩いて再発見する活動から始まり、「地域の人たちが読んで見て学べるものにしたい」と考え、この冊子を作りました。自分たちの地域のことを知ることで中島に住む誇りが生まれ、島を訪ねていただいた人たちにも説明ができるものとして使っていたいただきたいです。

【今後の目標や抱負を教えてください。】

島のことを知って理解していただけるように、もっともっとと宣伝していきたいですね。そのことがひいては全体のことを考えることに繋がると思っています。